

第45期モットー「お客さまに喜んでいただけるプロになろう！」Ⅲ
—5分前・前準備・後始末—

「幸せを願って」

NO.216

H. 24. 7. 10

(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

合掌 梅雨に入り、これから気温も上がるに連れ不快指数も上昇しますね。今年は、原発停止の影響もあり、会社や家庭での省エネが必要となります。

原発の問題は、将来的には廃止(例えば5～10年後)の方向で考えるべきでしょうが、感情的にすぐ停止せよというのはどうなのでしょう。それよりも、3・11の震災後から人の生き方、考え方が少し変わってきたように、経済・物質・エゴ優先から自然への配慮や地球環境保護への転換が求められるべきでしょう。例えば、省エネを考えるなら、国中にあふれる自動販売機は本当に要るのか(ヨーロッパには殆どありません)、24時間営業のコンビニは、深夜TVは全局必要なのか、等。あれば便利で快適だが、なくてもいいのではないかと思えるものが今の世の中には沢山あります。私たちのエゴ的な生き方、生活レベルの見直し、少し我慢しようという価値観の転換、この辺りを考え直す必要があるように思えます。

さて、別紙に西条市週布小学校で行われた「ダスキン出前授業」の報告通り、新しい試みが営業企画室の3名(次長・松本ヨ・悠美子)でスタートしました。これは、私自身ずっと希望していた日本の伝統文化であるおそうじ、ダスキンの得意分野であるおそうじを通じた学校教育支援活動、社会貢献活動なのです。特に私たちの未来を担う子どもたちに、日本独自のおそうじ文化を継承してもらおう。すなわち、雑巾の絞り方・拭き方、ほうきやチリトリの正しい使い方、居間やお便所のそうじの仕方等、まず基本をしっかりと身につける。そして、何の為におそうじをするのか、おそうじの効果は何なのかを確認します。

まずは、①快適。おそうじをすると、誰もがすっきりとした気持ちになります。イライラしている時は、おそうじや片づけをすると心が落ち着きます。整理整頓されたキレイな環境が、安全で安心な生活を呼び、子どもたちの勉学の手助けとなり、家族の調和が保たれます。いつも、お家の中をキレイにしておくことが良い子を育てる秘訣なのです。

次に、②耐久。物は大事にすれば大事にするほど、長持ちし役に立ってくれます。昔からプロの職人さんの道具は良く磨かれ、ピカピカに輝いていました。道具を見れば、

プロかアマチュアかすぐ分かるほどです。会社の車両も毎日洗車をします。事故が軽減されますので、保険料も数割引きとなります。何よりも仕事の効率が計れ、運転手の安全が確保されます。

最後に、③健康。まずは、身体健康です。ダスキンモップとダストクリーナーを使った毎日簡単おそうじは、アレルギーの主原因である室内のハウスダストを取り去ります。電気も殆ど使いませんので、賢いエコ(節電)おそうじです。ブラックライト・デモを見ましたね。次に、心の健康です。①の快適にも繋がりますが、キレイな家庭環境が家族を心安らかに育てます。子どもたちの躰にもなります。実は、おそうじには勉強や仕事、人生をよりよく生きていく上での必要な要素が集約されています。まずは、道具や洗剤類の前準備、どこからどこまでいつまでにやるかの段取り、家族(チーム)での役割分担、技術力のアップ、そして終了後の片づけと後始末。皆で協力し合った達成感、次にはもっとこうしようとの工夫改善、アイデアが湧きます。お便所そうじ等、実践している人には分かりますが、家族の健康や心理状態が分かります。大きなヒントを得ます。おそうじは良いこと尽くめなのです。是非、大切な子どもたちのより良い未来のために、快適な生活環境を用意してやってください。質実剛健がよいのです。

最後に船井幸雄氏の文章をお読みください。

合掌

「整理整頓の有効性」

時間を無駄なく使うための基本は、整理整頓です。仕事場だけではなく、自分の家や生活の場、そして共有の場所についても整理整頓をすることが大事です。整理整頓ができず、だらしない人で仕事ができるという人はめったにいません。なぜなら整理整頓は段取りをする力、優先順位を決める力、意志の強さが現れるところだからです。整理整頓ができず、他の人と共有する場所をきれいに使えない人には、早いうちに努力をしてもらう必要があると思います。人への配慮に欠ける人は、仕事ができるようになるとは思えません。

整理整頓ができない人は、人への配慮や周囲への迷惑への想像力に乏しくなります。周囲に気遣いができない人は、自己満足の世界で生きている人であるとも感じます。そのような印象、性格から脱却するためにも、整理整頓をするコツをつかんでもらうことが大事です。私の考える整理整頓のコツは、1.あらかじめ保管する場所を決めておき、使ったものを元の場所に戻す。そして 2.溜まりがちである資料や書類はいつまで保管するかルール化して実行。ただこれだけです。すぐに誰にでも実行できる簡単なことです。

一日の数分を整理整頓にかけるだけで、後で必要なものがどこにいったのかを探すという多くの無駄な時間を削減でき時間を有効活用することができます。整理整頓を基本と考え、いつでも何でも取り出せる準備を心でも行動でもしておきたいものです。さらに、いつ人が訪ねてきてもいいように整え、訪ねてきた人が不快にならない居心地の良い場所であるよう目指しましょう。それこそが人の気持ちを配慮できる真の心を持つ素敵な人であり、また、仕事ができるようになるための一歩です。ぜひ人材育成の参考にしてください。